

神話伝説の山里

# 「高千穂郷」通信

平成17年7月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.31



7月13～15日に、東京都内の寿司店で「宮崎 ひのかげ ほおずき展」が初めて開催されました。日之影町の地域づくりマネージャー北本正孟氏のお世話により実現。ほおずきや観光パンフレットを配付し、日之影町をPRしました。「かるい」等の竹工芸品の展示も行われました。

# 「田んぼの生きもの調査」実施

平成十三年から農林水産省と環境省が連携して、田んぼまわりの生物調査（略称「田んぼの生きもの調査」）を実施しており、今回、西臼杵支庁管内においても七月二二日に、中山間総合整備事業鞍岡地区の用水路で実施しました。この地区は、今後、農用水路や排水路の整備を計画しており、田んぼのまわりの生態系の現状を把握するため、地元の小学生に協力してもらって、田んぼの生きものを調査しました。今後、この調査結果を田んぼまわりの生態系のより良い保全方法に役立てていきます。



調査に参加してくれた山都町立馬見原小学校1年生から6年生までの12人（みんなの住所は五ヶ瀬町鞍岡ですが、県境のため熊本県の小学校に通学しています。）



用水路の入り口の河川で、たも網を使ってアブラハヤを捕まえました。



みんなで一生懸命、田んぼの生きものを探しました。



大きなヒキガエルをつかまえて喜ぶ児童



カエルは、ツチカエルを52匹、ヌマガエルを12匹、トノサマカエルを8匹、ヒキガエルを1匹、アマガエルを20匹。魚はアブラハヤを20匹見つけました。

## 九州横断自動車道延岡線建設促進沿線議会 協議会 総会・決起大会

本県と熊本県の15市町村の議会で作る九州横断自動車道延岡線建設促進沿線議会協議会の総会と決起大会が、7月20日に、高千穂町の国民宿舎「高千穂荘」で開催されました。各自治体の議員や首長など約400人が参加しました。

同協議会は、3年前に両県の期成会を統合して立ち上げ、両県が毎年交互に開催しています。

九州横断自動車道延岡線は、約95kmのうち、熊本県の矢部 - 御船間が新直轄方式で着工。本県側では、国道218号北方延岡道路として整備が進められており、延岡JCT・IC - 舞野間が本年度中に、北方ICまでが平成19年度中に完成する予定です。



総会で知事祝辞を代読する野口県高速道対策局長

## 「道づくりを考える女性の会」

「高千穂町の道づくり女性の会」が、将来に向けての地域を越えた高速交通網の整備促進と、道づくりの必要性・重要性を女性自ら考え、豊かな郷土の発展に寄与することを目的に発足しました。



「高千穂町の道づくり女性の会」発足式（7月13日、高千穂町役場会議室）

なお、日之影町では「日之影町の道づくりを考える女性の会」が昨年9月に設立されており、他の女性の会と交流するなどの活動を行っています。



「九州横断自動車道延岡線建設促進期成会日之影支部」と合同で行われた「日之影町の道づくりを考える女性の会」総会（6月29日、日之影町中央研修館）

## 県産業開発青年隊が現場研修

宮崎県産業開発青年隊の専攻課程（2年生）の隊員18名が、7月14、15日に西臼杵支庁管内の現場で研修を行いました。

産業開発青年隊は、昭和26年に全国に先駆けて発足し、「働きながら学ぶ」という教育理念の基、土木技術に関する専門技術を修得するための県の教育訓練機関です。

この研修には、五ヶ瀬町出身の佐伯拓弥さんも参加しました。

なお、来年度の入隊試験は9月7日から10月7日まで受付が行われ、10月16日に試験が行われます。



県道宇納間日之影線の新五ヶ瀬橋建設現場で、西臼杵支庁土木課の湯川主任技師から説明を受ける青年隊員

## 「7月は河川愛護月間」 河川清掃を実施

西臼杵支庁では、河川愛護月間期間中の7月27日に、神代川、上野川周辺と高千穂峡の河川清掃を実施しました。西臼杵地区測量設計連絡協議会も音の谷キャンプ場周辺を清掃しました。

また、管内の河川愛護ボランティア団体の6団体も河川清掃を行っています。



高千穂峡を清掃する西臼杵支庁職員



高千穂峡を清掃した西臼杵地区測量設計連絡協議会会員

## 平成17年度高千穂町町民活動支援事業 公開審査会

7月19日

高千穂町は、まちづくりなど地域活性化のために自主的に活動する住民団体を支援しようと町単独で町民活動支援事業を開始しました。

この支援事業の交付団体を決定するにあたり、補助事業の透明性を確保するため、初めての公開審査会を開催しました。

公開審査会には、11団体が参加し、5分間のプレゼンテーションを行い、審査員7名による審査の結果、6団体への助成が決定しました。

(助成が決定した団体)「子育て支援 ぼっぼの会」、「稲千穂会」、「山附公民館」、「五ヶ所平和祈念碑奉賛会」、「神話太鼓 音女座」、「五ヶ瀬川流域塾」



各団体が日ごろの活動を発表する機会にもなった「高千穂町町民活動支援事業」公開審査会

## 平成17年度観光関連功労者表彰

7月8日

みやざき観光コンベンション協会(中島勝美会長)は、観光地の美化や観光関係事業の振興等において顕著な功績者として、「西臼杵衛生公社」(佐藤利光社長)と「霧立越の歴史と自然を考える会」(秋本治代表)の2団体を表彰しました。

「有限会社西臼杵衛生公社(高千穂町)」は、昭和58年から22年間にわたり会社を挙げて、休日にボランティアで、神代川の清掃活動を行うとともに、徹底した浄化槽の管理により高千穂峡の水質汚濁防止等に貢献していることが認められました。



中島会長から表彰を受ける西臼杵衛生公社の佐藤社長。

「霧立越の歴史と自然を考える会(五ヶ瀬町)」は、平成7年より毎年「霧立越」の縦走道の草刈り、シンポジウムの開催、トレッキングコースの維持・管理、保護林保全活動への協力、希少野生動植物のデータ収集など霧立越の自然保護に尽力していることが認められました。

「霧立越」は、椎葉村と五ヶ瀬町を結ぶ九州山地脊梁の尾根道で、古くは平家の落人が、近くは西南の役の際、西郷隆盛率いる薩摩軍が逃れた道として知られています。また、周辺は九州最大のシャクナゲの群生地や高山植物の群生する白岩山があり、貴重な高山植物の宝庫となっています。



「霧立越の歴史と自然を考える会」は、関係機関とともに、今年4月に、白岩山にしか自生しない希少植物をシカの食害から守るため防護ネットを設置しています。



### 編集後記

現在、地方分権や市町村合併が進む中、地域の自立が求められています。このような中、県では、地域振興関係の補助金を統合し、全庁的に連携を図り、市町村や住民による個性豊かな地域づくりを後押しする新規事業「元気の良い地域づくり総合支援事業」を創設しました。今年度、西臼杵管内関連としては、5件の事業が採択されました。また、国の地域再生法に基づく地域再生計画についても、今年度の第1回目の認定で西臼杵管内から2件が認定されました。これは、西臼杵地域の町職員の方々の熱意の賜です。今後とも、地域住民の方々と力を合わせてがんばりましょう。修

\* 西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などがありましたら下記までご連絡ください。

### お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課  
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760  
URL [http://www.pref.miyazaki.jp/contents/org/chiiki/shityoson/nishiusuki\\_shityo/index.html](http://www.pref.miyazaki.jp/contents/org/chiiki/shityoson/nishiusuki_shityo/index.html)

古紙配合率100%、白色度82%を使用しています。

## 「かじかの里」室野直売所オープン

五ヶ瀬町三ヶ所室野地区の国道218号沿いに、地区住民による特産物直売所がオープンしました。

地域の活性化に役立つ拠点を作ろうと、地元有志による室野むらづくり協議会(甲斐則幸会長、6名)が、県や町の補助を受けて建設しました。

営業時間は午前7時から午後7時まで。水曜定休。



地取れの農産物や農産加工品を販売するほか、うどんやそば等が味わえる食堂もあります。